

令和3年度社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会事業報告

I 総括

社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の基本理念である「ともに支えあうまちづくりを」の実現のため、社会福祉事業と収益事業を合わせて35の諸事業を予定しましたが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、「3密」となるイベント事業などは中止となりました。

しかし、地区社協活動やささえあい井戸端会議をはじめとする地域活動については、「withコロナ」の視点で、新たな地域課題の整理や活動の工夫をしながら再開をはじめ、地域のつながりも徐々に回復してきています。また、生活困窮者支援として「フードリンクあやせ」の実施回数増など、充実に努めました。

令和3年度は、訪問介護事業（平成12年4月開始）の廃止、障害者介護支援事業の一部（平成15年4月開始）を廃止するなど、本会の担ってきた役割が終わり市全体の成熟を実感できた一年となりました。そのような背景の中、令和3年度の事務局職員人件費を除く事業費は、約1億3,050万円となり、前年度に比べ介護保険事業の廃止、売店事業のふるさと納税品売上減などにより、約5,630万円の減となりました。

なお、令和3年度は「3点の重点課題」を掲げましたが、その活動内容は次のとおりです。

II 重点事項報告

1 住民が主体的に活動するためのしくみづくり

「生活支援体制整備事業」における第二層協議体、綾瀬市「ささえあい井戸端会議」の体制作りに取り組みました。令和3年度は、新たに1地区発足され、12地区で「ささえあい井戸端会議」が活動を進め、地域の助け合いの仕組み作り等の充実を図りました。また、中止していた話し合いを再開するにあたり、新たな課題の整理、第二層コーディネーター育成を行いました。

2 生活困窮者に対する支援の充実

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的に不安定となっている世帯に対し、生活を維持するための貸付や相談支援を図りました。また、市民団体や行政と協働し、食料支援を軸とした事業「フードリンクあやせ」に参画するなど、多機関連携を育む一年となりました。

3 住民が安心して生活できる権利擁護の体制づくり

成年後見制度の担い手としての市民後見人を育成するため、県社協等と協働し、市民後見人養成講座を開催しました。また、市内で初めての市民後見人が選任されるなど、一つの成果を上げることが出来ました。

成年後見制度が広がり、利用しやすい制度とするために行政等と協議を重ね、「成年後見制度利用促進に関する体制づくり」を進め、令和4年度から開始するための準備を整えました。

Ⅲ 事業概要報告

I 社会福祉事業

決算額（前年度決算額）

1 法人運営事業

(1) 法人運営管理

3,592 千円（4,172 千円）



ア 三役会（4回開催）

三役（会長、副会長及び常務理事）が理事会及び評議員会に関すること、また今後の事業執行に必要な事項等について協議、検討を行い、本会理事機能の円滑化を図った。

イ 理事会（5回開催）

第1回（令和3年6月7日）

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度決算
- ・評議員候補者の推薦について
- ・理事候補者の推薦について
- ・監事候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・評議員会の招集について

第2回（令和3年6月24日）

- ・会長、副会長及び常務理事の選任について
- ・委嘱状交付

第3回（令和3年8月16日）※書面決議による開催

- ・諸規程の一部改正
- ・令和3年度顕彰者（表彰、感謝）の決定について

第4回（令和3年12月13日）

- ・定款の一部改正
- ・年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金支給基準の決定について
- ・諸規程の一部改正及び廃止

- ・評議員会の招集について

第5回（令和4年3月16日）※書面決議による開催

- ・資金収支補正予算
- ・諸規程の制定及び一部改正
- ・令和4年度事業計画
- ・令和4年度資金収支予算
- ・評議員会の招集について

ウ 評議員会（3回開催）

第1回（令和3年6月23日）

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度決算
- ・理事の選任について
- ・監事の選任について

第2回（令和3年12月23日）

- ・定款の一部改正

第3回（令和4年3月28日）※書面決議による開催

- ・資金収支補正予算
- ・令和4年度事業計画
- ・令和4年度予算



エ 監事会（2回開催）

第1回（令和3年6月4日）

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度決算

第2回（令和3年11月26日）

- ・令和3年度上半期事業報告
- ・令和3年度資金収支上半期執行状況

オ 評議員選任・解任委員会（1回開催）

第1回（令和3年6月15日）

- ・評議員の選任について

カ 特別賛助会員の増強

特別賛助会員増強のため郵便方式のほか、会長、副会長及び職員が市内事業所を訪問し、加入者の増強を図った。

- ・金額 1,016,220円（1,222,000円）

- ・件数 135件（151件）

キ 事務局通信の発行

社協事業の紹介、職員のプライベートな話題など、親しみを持ってもらえる記事を掲載した内部広報紙を発行し、役員、評議員、地区社協会長及びささえあい井戸端会議座長へ情報発信を図った。

- ・発行月 4月、7月、10月、令和4年1月 各60部発行

(2) 職員管理

63,091 千円（65,612 千円）



地区社協、行政、福祉団体、福祉施設等の関係機関と連携、協働を図り35の諸事業等を展開するなど、ともに支えあうまちづくりを推進するための活動を図った。

2 調査・研究事業

(1) 計画推進委員会

49 千円（0 千円）



第四次綾瀬市域福祉活動計画（平成31年4月から5年間）3年目の進行管理を行った。

第1回 令和3年12月6日

- ・委嘱状交付（変更委員のみ）
- ・正副委員長の互選
- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画の進行管理について
- ・気軽に触れ合え魅力ある綾瀬市社協をつくる4つの目標の進行管理について

(2) 苦情解決調整委員会

0 千円（0 千円）



市民、利用者からの苦情の適切な解決のため苦情解決調整委員会を設置し、福祉サービスの質の向上及び運営の信頼性を図った。

(3) 福祉人材確保事業

1 千円（0 千円）



ア 福祉の仕事知ってもらおうプロジェクト

福祉の仕事に興味、関心を持ってもらうため、市内福祉施設職員の協力のもと、学校向けにプレゼンテーションを行う事業。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

イ あやせ Tomorrow プロジェクト

若い世代を地域に取り込むため、防犯活動と健康づくりを兼ねた「夜回りランニング&ウォーキング」、米海軍厚木航空施設とのコラボで大上地区の清掃活動を実施した。

- ・実施回数 4回（7回）
- ・延べ参加者数 約60名（約150名）



3 広報・啓発事業

(1) 広報紙等発行事業

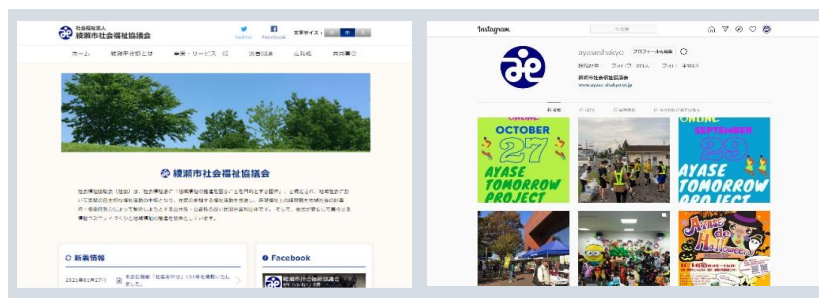
2,587 千円（2,323 千円） 

広報紙「社協あやせ」を発行し、市民への啓発の促進と福祉情報の周知を図った。

- ・配布方法 ポスティングによる配布
- ・配布先 市内全世帯、事業所、市内公共施設、構成会員、特別賛助会員
- ・発行月 4月、6月、10月、令和4年1月 各36,500部発行

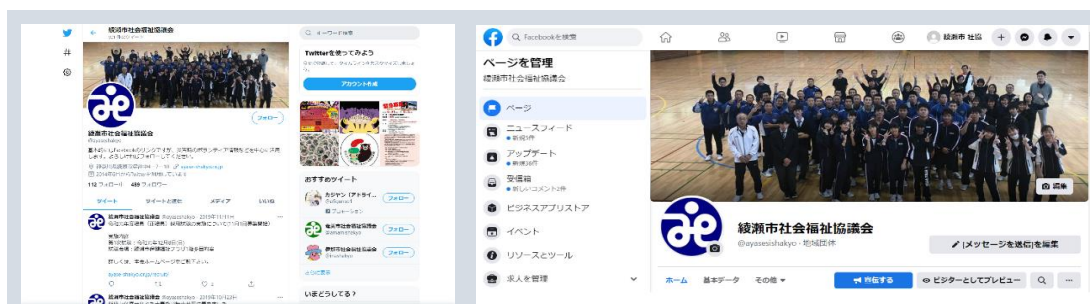
(2) ホームページ公開事業 ([http:// ayase-shakyo. or. jp/](http://ayase-shakyo.or.jp/))

本会の情報をはじめ地区社協の広報など幅広く情報を発信した。また、SNS を利用し、リアルタイムな情報発信を図った。



(ホームページ)

(インスタグラム)



(ツイッター)

(フェイスブック)

(3) 福祉ふれあいまつり

0 千円 (8 千円)



福祉施設及び団体、地区社協、ボランティアの協力のもと、地域福祉や障がい福祉に今まで接点のなかった、または関わりの少なかった市民に向けて、福祉への理解と参加者及び関連団体の交流を図る事業。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

4 地域福祉推進事業

(1) 社会福祉大会（社会福祉表彰式）

296 千円 (166 千円)



永年にわたって地域福祉推進のため活動してきた方々や多額の芳志をされた方々を対象に表彰式典を開催し、労をねぎらった。

- ・開催日 令和3年10月2日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者数 85名 (50名)
- ・被表彰 表彰 49件 (23件)
感謝 4件 (7件)
寄付感謝 4件 (2件)



福祉作文コンクール表彰 2件 (0件)

- ・地区社協活動実践発表大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催中止。

(2) 福祉レクリエーション大会

0 千円 (0 千円)



市内の福祉団体とその家族及び福祉施設の入所者が集い、スポーツを通じて参加者相互の交流を行い、心身の健康保持を図る事業。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

(3) 地区社協推進事業

3,764 千円 (3,767 千円)



地区社協の活動費を助成するとともに、各地区へ職員を派遣し、支援を図った。

ア 設置地区助成金

- ・助成数 14地区 (14地区)
- ・助成額 20万円／1地区 (20万円／1地区)

イ ふれあいいきいきサロン事業

子どもを対象とした、お互いがつながりを持てる場を住民主体で作れるよう

支援するため助成し、サロン事業の充実、促進を図った。

- ・助成数 0 地区（3 地区）
- ・助成額 2 万円／1 地区（2 万円／1 地区）

ウ 地区ボランティアセンター設置事業

- ・助成数 3 地区（3 地区）
- ・助成額 5 万円／1 地区（5 万円／1 地区）

エ 地区社協強化推進事業

活動拠点（寺尾南地区社協ボランティアセンターサロンなごみ、落合ふれあいの家）の運営や交流事業の活動費を支援し、充実と促進を図った。

- ・助成数 5 地区（4 地区）
- ・助成額 10 万円／1 地区（10 万円／1 地区）

オ 地区社会福祉協議会連絡協議会（地区社協連協）

定期総会（令和3年6月11日）※書面決議による開催

- ・役員の変更
- ・令和2年度事業報告及び決算報告
- ・令和3年度事業計画及び予算

定例会 3の倍数月 第2金曜日

第1回（令和3年6月11日）※書面決議による開催

- ・地区社協活動功労者表彰の推薦について
- ・令和3年度地区社会福祉協議会依頼事項等について
- ・令和3年度地区社会福祉協議会研修会の実施について
- ・令和3年度綾瀬市市民後見講座の開催について
- ・令和3年度総会決議事項について

第2回（令和3年9月10日）※書面決議による開催

- ・避難行動要支援者登録者名簿について
- ・令和3年度地区社協活動功労者表彰者の決定について
- ・令和3年度綾瀬市社会福祉表彰式地区社協関係顕彰者について
- ・地区社協広報紙等市社協事務局での配架について
- ・綾瀬市社会福祉協議会災害時あんしん袋配布事業消耗品の交換について

- ・地区社協活動強化推進事業助成金の申請について

第3回（令和3年12月10日）

- ・令和3年度綾瀬市災害ボランティアセンター設置運営訓練について

- ・地区社会福祉協議会部会（担当者）情報交換会について
- ・災害時あんしん袋配布事業消耗品（キャラメル）の変更について
- ・令和3年度災害時あんしん袋配布事業年間スケジュールについて
- ・綾瀬市災害時避難行動要支援者名簿について

第4回（令和4年3月11日）※書面決議による開催

- ・令和4年度依頼事項等について
- ・地区社協現況調査及び地区社協アセスメント調査の実施について
- ・綾瀬市災害時あんしん袋配布事業の消耗品交換について
- ・買い物等外出支援に関するアンケートについて
- ・令和4年度事業計画について
- ・令和4年度綾瀬市地区社会福祉協議会連絡協議会役員について
- ・令和4年度災害時あんしん袋配布事業内容物の変更について
- ・綾瀬市災害時避難行動要支援者登録者名簿の配付について

研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

交流会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

地区社協活動功労者表彰式（令和3年12月10日）

- ・被表彰者 11名（19名）



カ 地区社協新任役員等合同研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

キ 地区社協活動実践発表大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

ク 地区社協総務部会担当者情報交換会（令和3年11月15日）

- ・出席 19名（0名）
- ・各地区における広報活動について
- ・地区社会福祉協議会強化推進費助成金等について
- ・その他情報交換

※令和3年度から再開

ケ 地区社協サロン部会担当者情報交換会（令和3年11月16日）

- ・出席 19名（0名）
- ・各地区におけるサロン活動状況課題について

- ・サロン助成金について

※令和3年度から再開

コ 地区社協事業部会担当者情報交換会（令和3年11月26日）

- ・出席 18名（0名）
- ・各地区における事業の再開状況課題について
- ・地区社会福祉協議会強化推進費助成金等について

※令和3年度から再開

(4) 生活支援体制整備事業

2,658 千円（1,368 千円）



各地区に職員を派遣し支援するとともに、さわやか福祉財団の協力を得て、日常生活圏域での、ささえあい井戸端会議発足を図った。

ア ささえあい井戸端会議（第2層協議体）の新規発足

- ・寺尾北ささえあい井戸端会議発足（令和4年1月17日）

イ ささえあい井戸端会議（第2層協議体）の開催 全12地区

- ・寺尾南 毎月第3火曜日 8回（2回）
- ・吉岡 毎月第2木曜日 7回（4回）
- ・中村 毎月第2月曜日 5回（3回）
- ・落合 毎月第2日曜日 7回（1回）
- ・早川 毎月第3金曜日 3回（4回）
- ・寺尾北 毎月第3日曜日 3回（新規）

ウ ささえあい井戸端会議の資質向上

- ・第2層協議体座談会（令和3年10月15日）27名（新規）
- ・第2層協議体生活支援Co養成研修
（令和3年11月19日）19名（新規）



エ ささえあい井戸端会議（第2層協議体）の全地域設置に向けた取り組み

- ・寺尾北ささえあい井戸端会議設置説明会
（令和3年12月12日）20名（新規）

オ ささえあい井戸端会議の広報啓発活動

- ・地域支えあいニュース発行
(ホームページ掲載) 1回(新規)



カ 第1層協議体運営会議

- ・オンライン版 第1層協議体勉強会
(令和4年3月15日) 12名(新規)

キ 地域サロン助成金

高齢者が地域で気軽に集える継続的な集い場(サロン)を運営する団体に対して地域サロン助成金を交付する。

- ・交付数 30団体(16団体)

5 助成事業

(1) 地域福祉事業交付金

608千円(733千円)



各自治会の協力により募集した、会費(住民会費)の一部を還元し、自治会で実施する地域福祉活動の支援を図った。

- ・交付数 13自治会(14自治会)

(2) 福祉当事者団体等事業助成金

1,343千円(1,298千円)



ア 福祉当事者団体助成金

高齢者や障がい者当事者活動を支援するための助成を行い、当事者活動の充実、促進を図った。

- ・交付数 5団体(5団体)

イ 小・中学校福祉推進事業

小、中学校へ福祉教育のための助成を行い、学校教育との連携や福祉教育の充実、促進を図った。

- ・交付数 15校(14校)

(3) 福祉ボランティアグループ事業助成金

900千円(990千円)



ボランティアグループへの事業費助成を行い、活動の支援を図った。

- ・交付数 13グループ(11グループ)

6 援護事業

(1) 法外緊急援護事業

0 千円 (1 千円)



緊急に交通費等を必要とする行路人等へ、資金給付を行うとともに、罹災世帯に対し、緊急的な資金の支援を行った。

- ・ 給付件数 1 件 (4 件)
- ・ 緊急的支援件数 0 件 (0 件)

7 総合相談事業

(1) 総合相談事業

0 千円 (48 千円)



ア 窓口相談 (随時対応)

職員が窓口や電話で、様々な悩みごと、心配ごとの解消を図った。

- ・ 相談件数 559 件 (996 件)

イ 地域なんでも相談 (毎月 1 回 ※各地区共通)

職員が地域に出張し (深谷大上ふれあいの家、落合ふれあいの家、寺尾南地区ボランティアセンターサロンなごみ、吉岡自治会館) 悩みごと、心配ごとの解消を図る事業。

- ・ 相談件数 1 件 (0 件)

※令和 3 年度から再開

(2) 生活応援事業

155 千円 (27 千円)



ア 生活応援事業

生活や食べるものに困窮する市民、世帯を対象に、総合的な相談と緊急性の高い世帯に対して、光熱水費の支払い (現物支給) を行う。また、セブン-イレブン、ジャパン(株)並びにフードバンクかながわの食品提供協力を得て食料支援を行い、生活再建の支援を図った。また、事業の財源とするため、社会福祉法人から協賛金を募った。

- ・ 支援件数 3 件 (0 件)
- ・ 食料支援件数 229 件 (327 件)
- ・ 協賛数 6 件 (3 件)
- ・ 協賛金額 240,000 円 (140,000 円)
- ・ その他寄付 1 件 (新規)

イ 生活応援事業運営委員会

第一回運営委員会※書面報告

- ・令和2年度生活応援事業支援実績について
- 第二回運営委員会（令和4年2月24日）
- ・令和3年度生活応援事業支援実績について
- ・令和3年度フードリンクあやせ実績報告について
- ・生活協同組合寄附金の取り扱いについて

ウ フードリンクあやせ（市並びにこども食堂関連団体等との共同事業）

市並びにこども食堂等を運営する団体と協働し、食料及び日用品を提供する「フードリンクあやせ」に参画した。

- ・開催回数 5回（1回）
- ・配布人数 822人（109人）



8 ボランティア振興事業

(1) ボランティアセンター運営事業

2,470千円（2,105千円） 

相談員を配置し、相談、派遣、さろんの実施、講座開催等の需給調整を行った。

- ・個人ボランティア 152名（157名）
- ・団体ボランティア 50団体（49団体）
- ・相談件数 164件（131件）

ア ボランティア講座

活動に必要な知識と理解を深める講座を開催し、人材養成を図った。

ボランティア入門講座

- ・開催回数 2回（1回）
- ・参加者 9名（6名）

登録ボランティア研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

イ ボランティアさろん

誰もが簡単に参加できる活動の提供や交流と情報交換の場として開催した。

- ・参加者 12名（20名）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により4月のみ開催

ウ 綾瀬市ボランティア連絡協議会

ボランティア相互の連携を図るとともに、活動の充実及び普及を図った。

定期総会 ※書面決議による開催

- ・令和2年度事業報告及び決算報告
- ・令和3年度事業計画及び予算

役員会

第1回（令和3年10月22日）

- ・交流会事業の実施について
- ・研修会事業の実施について

第2回（令和4年3月24日）

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和4年度事業計画について
- ・令和4年度総会について

交流会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

エ 青少年体験学習

中、高校生等を対象にボランティア活動の場を提供し、福祉への理解促進を図る事業。



- ・参加者数 中学生 1名（0名） 高校生等 16名（0名）
- ・参加校数 中学校 1校（0校） 高校等 2校（0校）

※令和3年度から再開（オンラインによる開催）

オ 行事用機材貸出事業

福祉団体、市民活動団体等へ行事用機材の貸出しを行い、活動支援を図った。

- ・ポップコーン機 6件（0件）
- ・ポン菓子機 0件（0件）
- ・かき氷機 7件（2件）
- ・綿菓子機 5件（4件）

カ 福祉教室

小、中、高校等の依頼をもとに授業で福祉教室を開催した。

- ・手話体験 4件（10件）
- ・高齢者疑似体験 0件（0件）
- ・車いす貸出 7件（0件）
- ・高齢者理解講話 1件（0件）
- ・点字体験 0件（0件）
- ・視覚障がい者講話 0件（0件）
- ・誘導體験 3件（0件）
- ・肢体不自由者講話 0件（0件）
- ・サウンドテーブルテニス体験 3件（2件）

(2) 災害ボランティアセンター活動事業

0 千円 (122 千円)



ア 綾瀬市災害ボランティアセンター設置運営訓練

あやせ災害ボランティアネットワークと連携し、災害ボランティアセンターの設置及び寺尾南地区社協の協力を得て、サテライト災害ボランティアセンターの設置訓練を図る事業。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

イ 県外被災地支援事業

令和3年度は活動なし。

9 共同募金配分金事業

(1) 共同募金配分金事業

167 千円 (116 千円)



年末たすけあい募金の一部を年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金として、レオモナ（就労継続支援B型）いっぽ綾瀬（就労継続支援B型）ファミリー（地域活動支援センター）へ配分した。

- ・ 交付数 3ヶ所（2ヶ所）
- ・ 交付額 5万円／1ヶ所（5万円／1ヶ所）



(2) 災害時あんしん袋配布事業

292 千円 (143 千円)



65歳以上の高齢者のみの世帯で「地域避難行動要支援登録制度」に登録をしている方を中心に、災害時あんしん袋（水、キャラメル、笛、懐中電灯）を配布し、要支援者との顔つなぎを図った。

- ・ 協賛 サントリービバレッジサービス株式会社（水の無償提供）
- ・ 配布数 1,353個（1,330個）

(3) その他

3,600 千円 (3,800 千円)



広報紙発行事業、ボランティア活動助成、福祉団体助成等に配分金を充当した。

10 あんしんセンター事業

(1) 日常生活自立支援事業

5,576 千円 (6,510 千円)



高齢者や障がい者等が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの

利用援助や金銭管理、公共料金等の支払を代行し、日常生活の支援を図った。

ア 契約締結者数

- ・利用援助、管理サービス 40名（45名）
- ・書類等預かりサービス 11名（14名）
- ・上記両方契約 10名（13名）



イ 相談件数

- ・問い合わせ等 26件（25件）
- ・契約者相談 1,846件（1,927件）

ウ 局内カンファレンス

新規相談者の契約締結能力や支援の必要性などを総合的に判断し、支援方針を決定した。また、契約者の判断能力の有無、支援の適否や契約更新の可否について検討を行った。

- ・開催回数 7回（6回）

(2) 法人後見事業

6,400千円（5,017千円） 

家庭裁判所の審判により、認知症高齢者や知的障がい者の後見人等として身上監護及び財産管理を行い、日常生活の支援を図った。

ア 受任件数

- ・後見 9件（9件）
- ・保佐 1件（0件）
- ・補助 0件（0件）

イ 法人後見審査会の開催 ※書面審査

- ・開催回数 1回（1回）

(3) 市民後見事業

1,434千円（1,285千円） 

ア 市民後見サポーター

市民後見人養成講座修了者3名が後見活動（法人後見受任ケース）を行った。

市民後見人受任 1件

イ 綾瀬市市民後見人養成講座（市受託事業）

市民後見人養成講座基礎研修（県社協実施）修了者を対象に、市民後見人養成講座実践研修を実施。

受講人数 1名

修了人数 0名

1 1 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

4,004 千円 (7,862 千円) ↓

生活福祉資金（福祉資金、教育支援資金、総合支援資金）等の貸付の相談や借受者（世帯）への償還指導を実施し、低所得者世帯への生活の安定を図った。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失職等により収入の減った世帯にコロナ特例貸付を行った。

ア 福祉資金・教育支援資金

・相談件数 67件（38件） ・貸付件数 4件（3件）

イ 緊急小口資金

・相談件数 0件（1件） ・貸付件数 0件（0件）

ウ 総合支援資金

・相談件数 1件（0件）

エ 不動産担保型生活資金

・相談件数 5件（1件）

オ コロナウイルス感染症特例貸付

・相談件数 1,377件（2,731件）

・申込件数 968件（1,383件）

(2) 簡易小口生活資金貸付事業

51 千円 (16 千円) ↑

不測の事態により生活が困難になった世帯に資金を貸付し、生活の安定を図った。

・貸付件数 3件（2件） ・償還件数 3件（2件）

1 2 基金運営事業

(1) 福祉基金運営事業

525 千円 (439 千円) ↑

・寄託金額 525,652円（439,658円）

・寄託金件数 19件（20件）

・寄託品件数 8件（19件）



(2) 各種基金運営事業

14,778 千円 (3,942 千円) ↑

各種基金を管理し、活動財源の確保、財政の長期にわたる健全な運営を図った。

13 サービスセンター事業

(1) サービスセンター事業

2,215 千円 (1,887 千円) ↑

コミュニティケアワーカーを配置し、相談、助言、支援等のコーディネートや障がい当事者と市民が交流を図るふれあいの場としてあやせ夢アート展を開催した。また、車いすを3か月限度に貸出し、病気やケガ等で歩行が一時的に困難な方の支援を図った。

ア あやせ夢アート展

・来場者数 180人 (新規)

イ 車いす貸出件数

・件数 85件 (62件)

ウ 男性料理教室

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止



(2) 住民参加型生活支援事業

939 千円 (705 千円) ↑

高齢者、障がい者等に家事援助、身体介護など住民参加型のホームヘルパーを派遣し、支援を図った。

ア 登録者数

・援助会員 17名 (15名) ・利用会員 20名 (24名)

イ 援助回数

・619回 (455回)

(3) 住民参加型移動支援事業

108 千円 (131 千円) ↓

市民の参加と協力により、移動制約者（高齢者、身体障がい者等）のために自家用車などを利用し、病院等への送迎の支援を図った。

ア 登録者数

・協力会員 9名 (9名) ・利用会員 53名 (59名)

イ 運行回数

・745回 (595回)

(4) 移送サービス受託事業 3,048 千円 (3,079 千円) ↓

車いす等を利用しなければ歩行が著しく困難な方々へ、リフト車を2台運行し、通院等の支援を図った。

・延べ利用者数 255名 (268名)

14 訪問介護事業

(1) 訪問介護事業 1,518 千円 (34,776 千円) ↓

10月をもって、事業所を閉所した。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

10月をもって、事業所を閉所した。

15 障害者介護支援事業

(1) 障害者介護支援事業 2,917 千円 (7,224 千円) ↓

10月をもって、事業所を閉所した。

(2) 計画相談事業

障がい児者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を図った。

・利用者数 33名 (39名)

II 収益事業

決算額 (前年度決算額)

1 売店事業

売店事業 68,088 千円 (94,496 千円) ↓

市役所内売店等を受託経営し、市役所職員の福利厚生や来庁者への利便を図るとともに、収益金を福祉事業に活用するため、自主財源の確保を図った。



◇会費収入状況

会員（会費）募集

本会が行う民間福祉活動への理解及び事業、活動のための自主財源確保を目的として実施し、多くの市民等の賛助をいただいた。

会費種別	金額
住民会費	6, 7 9 9, 2 8 9 円 (6, 0 9 4, 2 9 9 円)
構成会費	1 0 0, 0 0 0 円 (1 1 3, 0 0 0 円)
特別賛助会費（事業所）	1, 0 1 5, 2 2 0 円 (1, 2 0 5, 0 0 0 円)
特別賛助会費（個人）	1, 0 0 0 円 (1 7, 0 0 0 円)
計	7, 9 1 5, 5 0 9 円 (7, 4 2 9, 2 9 9 円)

◇事務局職員体制

（令和４年３月３１日現在）

事業区分名	配置人員
職員管理	常勤（９名）
ボランティアセンター運営事業	非常勤（２名）
日常生活自立支援事業	嘱託（１名） 非常勤（兼務４名）
法人後見事業	嘱託（１名） 非常勤（兼務４名）
市民後見事業	非常勤（１名）（兼務４名）
生活福祉資金貸付事業	非常勤（２名）
サービスセンター事業	非常勤（２名）
移送サービス受託事業	非常勤（３名）
売店事業	非常勤（６名）
計	常勤（９名） 嘱託（２名） 非常勤（２０名） 計３１名